

2026 年 9 月 3 日

トヨタホーム株式会社

AI を活用した住宅パースのフォトリアル化機能を導入

～AI 技術の活用により、住まい提案の品質向上を推進～

トヨタホーム株式会社(名古屋市東区、代表取締役社長 西村祐)は、このたび、オリジナル CAD^{※1} システム「ARCH (アーチ)」に連携するプレゼンテーションシステム「Persmart (パースマート)」の新機能として、プランごとの外観・内観パースを AI 技術により写真に近い表現で作成できる AI パース機能を導入しました。今後、トヨタホーム販売店において順次運用を開始します。

トヨタホームは、商談プロセスにおけるプレゼンテーションツールとしてオリジナルプレゼンテーションシステム「Persmart」を活用しています。「Persmart」は住宅完成後のイメージを立体的に表現するパース作成機能、3DVR^{※2}による空間体験機能を備えており、お客さまは完成後の住まいを具体的にイメージしながら住まいづくりを進めることができます。

今回、お客さまへより分かりやすい住まい提案を行うため、株式会社ファイン(大阪市西区、代表取締役 古川武志)の「AI パース[®]」技術を活用し、同社と共同でフォトリアル画像生成機能を開発して「Persmart」へ追加しました。これにより、短時間(約1分/枚)で写真に近い質感を備えた高品質なパース画像を作成できるようになりました。

本機能の導入により、初期提案の段階からフォトリアルな完成予想イメージ^{※3}を提供することで、お客さまの住まいづくりへの期待感を高め、より満足度の高い住まい提案の実現を目指してまいります。

今後も各種ツールの機能充実とデジタル技術の活用を通じて提案品質の向上に努め、お客さま一人ひとりの理想の暮らしを叶える住まいづくりに取り組んでまいります。

※1)「Computer Aided Design」の略。設計図面の作成を効率化するためのコンピューター支援による作図。

※2) VR (バーチャル・リアリティ): 仮想現実のこと。コンピューターのなかに作られた仮想的な世界をあたかも現実のもののように体感できる技術。

※3) AI 技術を用いたイメージ画像。実際の建築物とは異なる表現が含まれる場合があります。

※4)「AI パース」は株式会社ファインの登録商標です。



《AIパース機能使用イメージ》

《AI パース機能使用前後の例》

【使用前】



【使用后】



《AI パース機能使用例》



以 上

未来をまちづくる **PLT** Group

プライム ライフ テクノロジーズグループは、パナソニック ホームズ、トヨタホーム、ミサワホーム、パナソニック建設エンジニアリング、松村組を事業会社として「未来をまちづくる PLT」をコーポレートメッセージに掲げ、顧客課題と社会課題の解決に取り組んでいます。

※プライム ライフ テクノロジーズ(株)は、2020 年 1 月にパナソニック(現パナソニックホールディングス)とトヨタ自動車が発立し、三井物産を加えた 3 社を株主とする会社です。